

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	選挙に関する常時啓発事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	811	名称	根拠法令、条例等	目	2	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	8			全庁共通	事業期間	開始年度	実施方法	直営
	政策	1			全庁共通	終了年度	事業分類	啓発事業	
	施策	1			政策体系外				

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	明るくきれいな選挙の推進と投票総参加への呼びかけを行うための啓発活動を行う。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	明るくきれいな選挙の推進と、より多くの人が投票に参加してくれる社会の実現。
-------------------------	---------------------------------------

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
買収等選挙犯罪検挙件数	回	0	0	0	0	0
県平均投票率との比較	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	選挙啓発ポスター募集・作品展示、二十歳のついで参加者への啓発パンフの配布、公民館等へ啓発冊子の配布等を行った。 また、中学校・高等学校の生徒へ主催者教育の出前講座等を行った。
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
啓発パンフ・冊子配布回数	回	7	7	7
学校への出前講座等回数	回	2	3	4
事業費計	千円	83	36	38
一般財源	千円	83	36	38
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	明るくきれいな選挙の推進ができた。 投票総参加への呼びかけや、中学校・高等学校の生徒へ主催者教育の出前講座等を行ったが、投票率向上には直接結びつかなかった。
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
買収等選挙犯罪検挙件数	回	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
県平均投票率との比較	%	-2.39	-0.33	-0.22	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し	○		
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

啓発活動をより効果的に行うにはどのようにしたらいいかということが、今後の検討課題。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	県選管や、他市町選管と情報交換しながら、より効果的な啓発方法を探る。
------	------------------------------------

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	選挙人名簿調製事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	811	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標	8	全庁共通	公職選挙法、栃木県選挙事務等取扱規程、栃木県選挙等執行規程	事業期間	開始年度	実施方法	直営
	政策	1	全庁共通		終了年度	事業分類	その他内部事務事業	
	施策	1	政策体系外					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	公職選挙法等関係法令に基づき、選挙人名簿を調製する。
------	----------------------------

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	選挙人名簿を調製することにより、有権者を的確に把握する。
-------------------------	------------------------------

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
有権者を的確に把握できた割合 (定時登録,選挙時登録時)	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・選挙管理委員会を開催し、選挙人名簿への登録及び抹消を行った。
--------------------------	---------------------------------

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
選挙人名簿調製回数	回	10	10	8
事業費計	千円	1,750	1,894	2,002
一般財源	千円	1,750	1,894	2,002
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	選挙人名簿を調製し、有権者を的確に把握できた。
------------------	-------------------------

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
有権者を的確に把握できた割合 (定時登録,選挙時登録時)	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	0指標
	1指標
	0指標
指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し			
	費用が増加した		○	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	全国市区選挙管理委員会連合会関東支部参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国庫補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	811	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	8			全庁共通	開始年度		実施方法	直営
	政策	1			全庁共通	終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1			政策体系外				

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	関東地区の選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行う。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	関東地区の選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行う。
-------------------------	---

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
情報収集回数	回	1	2	2	3	3
(総会等出席回数[書面,ウェブ開催含])						

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・全国市区選挙管理委員会連合会関東支部主催の、総会,研修会等に参加した。
--------------------------	--------------------------------------

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
総会,研修会等出席回数	回	1	2	2
(書面,ウェブ開催含)				
事業費計	千円	0	0	5
一般財源	千円	0	0	5
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	関東地区の選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行った。
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
情報収集回数	回	1	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(総会等出席回数[書面,ウェブ開催含])						

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し		○	
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	全国市区選挙管理委員会連合会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	811	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	8		全庁共通	事業	開始年度	実施方法	直営
	政策	1		全庁共通	期間	終了年度	事業分類	参画事業
	施策	1		政策体系外				

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	全国の市及び区の選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行う。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	全国の市及び区の選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行う。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
情報収集回数	回	1	1	2	3	3
(総会等出席回数[書面,ウェブ開催含])						

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・全国市区選挙管理委員会連合会主催の、総会,研修会等に出席した。
--------------------------	----------------------------------

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
総会,研修会等出席回数	回	1	1	2
(書面,ウェブ開催含)				
事業費計	千円	39	39	130
一般財源	千円	39	39	130
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	全国の市及び区の選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行った。
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
情報収集回数	回	1	1	2	値が大きいほど良い	効果が上がった
(総会等出席回数[書面,ウェブ開催含])						

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 <b>効果が上がった</b>

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	栃木県議会議員選挙	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会		予算科目	会計	一般	事業計画	単年度のみ	
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	811	名称	根拠法令、条例等	目	3	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	8	全庁共通	公職選挙法、栃木県選挙事務等取扱規程、栃木県選挙等執行規程	事業期間	開始年度	令和4年	実施方法	一部委託
	政策	1	全庁共通		終了年度	令和5年	事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	1	政策体系外						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	栃木県議会議員の任期満了に伴う選挙執行経費のうち令和5年度執行分
------	----------------------------------

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	栃木県議会議員選挙を滞りなく執行する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		滞りなく実施(準備)できた選挙数	選挙		1	1		

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・選挙執行計画の決定、選挙事務関係者の委嘱・選任、ポスター掲示場の設置、選挙人名簿の登録・作成、選挙事務説明会の開催、選挙公報の配布、期日前投票・不在者投票の受付、個人演説会の届出受付を行う。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		投票所設置数	箇所		55	55
		期日前投票所設置数	箇所		5	5
		事業費計	千円	0	11,335	22,830
		一般財源	千円		0	4
		特定財源（国・県・他）	千円		11,335	22,826
		(うち受益者負担)	千円		0	0

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	栃木県議会議員選挙を滞りなく執行できた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較	
		滞りなく実施(準備)できた選挙数	選挙		1	1	値が大きいほど良い	効果は変わらない	

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標	費用	費用は下がった	費用の増減無し	
	効果が下がった指標数	0指標				費用が増加した
	指標全体	効果は変わらない				

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 令和5年度で事業終了
---	--------------------



# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	栃木県市選挙管理委員会連合会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業	
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	811	名称	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	8			全庁共通	開始年度		実施方法	直営
	政策	1			全庁共通	終了年度		事業分類	参画事業
	施策	1			政策体系外				

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	県内各市選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行う。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	県内各市選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行う。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
情報収集回数	回	2	2	3	3	3
(総会等出席回数[書面,ウェブ開催含])						

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・全国市区選挙管理委員会連合会主催の、総会,研修会等に出席した。
--------------------------	----------------------------------

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
総会,研修会等出席回数	回	2	2	2
(書面,ウェブ開催含)				
事業費計	千円	16	16	94
一般財源	千円	16	16	94
特定財源(国・県・他)	千円	0	0	0
(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	県内各市選挙管理委員会との連携を図り、選挙に関する調査・研究、情報の収集を行った。
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
情報収集回数	回	2	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(総会等出席回数[書面,ウェブ開催含])						

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用 (R5とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し		○	
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月6日

事業名	監査等執行事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	監査委員事務局	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	監査委員事務局			款	2	新規or継続	継続事業
	係	監査委員事務局			項	6	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	8113	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務的事業
	基本目標		地方自治法 佐野市監査委員条例	事業期間	開始年度		実施方法	直営
	政策			終了年度		事業分類	その他内部事務事業	
	施策							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	市の財務、事業管理に関する決算審査、定例監査、住民からの請求に基づく監査及び例月の現金出納に関する検査結果を取りまとめ関係者へ通知及び公表する
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	各部局等の事務事業の執行が適正かつ効率的に行われるようにする
-------------------------	--------------------------------

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
監査等における改善指摘件数	件	0	0	0	0	0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	監査（定例監査、財政援助団体等に対する監査、施設監査）：9月～2月 検査（例月出納検査）：毎月 審査（決算及び基金運用状況審査、健全化判断比率及び資金不足比率に関する審査）：6月～8月
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
監査・検査等件数	件	66	67	69
事業費計	千円	109	126	119
一般財源	千円	109	126	119
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	決算審査や定例監査等において、財務に関する事務処理について、全般的には大きな誤りはなく、おおむね良好であった。
------------------	---

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
監査等における改善指摘件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない指標数 1指標 効果が下がった指標数 0指標 指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し		○	
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月6日

事業名	関東都市監査委員会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	監査委員事務局	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	監査委員事務局			関東都市監査委員会参画事業	款	2	新規or継続	継続事業
	係	監査委員事務局				項	6	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	8113	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標				事業期間	開始年度	実施方法	直営	
	政策				終了年度		事業分類	参画事業	
	施策								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	関東都市監査委員の取組（①都市監査委員相互の意思疎通及び連絡②監査委員制度に関し関係官庁等への陳情、請願及び意見の上申③監査に関する研究会、講演会の実施④監査に関する調査研究資料の発表等）に参画し、本市の監査機能の充実・強化を図る。
------	--

### （2）目的

目的 （本事業によって成し遂げたい状態）	監査委員及び事務局職員の監査知識を深め、監査の手法を充実させ、情報を得ることで監査機能の充実を図る。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
研修会等開催回数	回	0	0	1	2	2

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 （R5年度に行った主な活動内容）	（市の活動） 定期総会は書面開催、研修会は動画配信により実施となったので、参加した。 （関東都市監査委員会の活動） 定期総会、研修会の開催、監査執行に関する情報収集と会員都市への情報提供
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
研修会等出席回数	回	0	0	1
事業費計	千円	0	0	0
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

効果説明 （定量及び定性）	書面や動画配信による定期総会、研修会の開催ではあったが、参加することにより、監査執行に関する情報収集を行うことができた。
------------------	--

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
研修会等出席率	%	0	0	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 <b>効果が上がった</b>

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--



# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月6日

事業名	全国都市監査委員会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	監査委員事務局	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	監査委員事務局			款	2	新規or継続	継続事業
	係	監査委員事務局			項	6	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	8113	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標				事業期間	開始年度	実施方法	直営
	政策					終了年度	事業分類	参画事業
	施策							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	監査制度の充実を図るために研修会等に参加する。
------	-------------------------

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	監査委員及び事務局職員の監査知識を深め、監査の手法を充実させ、情報を得ることで監査機能の充実を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修会等開催回数	回	0	0	1	1	1

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 定期総会に参加した。 (全国都市監査委員会の活動) 定期総会、研修会の開催、監査執行に関する情報収集と会員都市への情報提供	活動指標	単位	R3	R4	R5
		研修会等出席回数	回	0	0	1
		事業費計	千円	37	37	92
		一般財源	千円	37	37	92
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	定期総会、研修会へ出席することにより、監査執行に関する情報収集を行うことができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		研修会出席率	%	0	0	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断			効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用は下がった	費用の増減無し	○	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標						
	効果が下がった指標数	0指標						
指標全体	効果が上がった							

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月6日

事業名	栃木県都市監査委員会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	監査委員事務局	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	監査委員事務局			款	2	新規or継続	継続事業
	係	監査委員事務局			項	6	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	8113	根拠法令、条例等	事業期間	目	1	義務or任意	任意の事業
	基本目標				開始年度		実施方法	直営
	政策				終了年度		事業分類	参画事業
	施策							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	監査制度の充実を図るために研修会等に参加する。
------	-------------------------

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	監査委員及び事務局職員の監査知識を深め、監査の手法を充実させ、情報を得ることで監査機能の充実を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		研修会等開催回数	回	0	0	2	2	2

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 定期総会、事務局長会議は書面開催となった。 補助職員研修会は参加した。 定例会は担当市となりWEB講演会を開催した。 (栃木県都市監査委員会の活動) 定期総会、研修会の開催、監査執行に関する情報収集と会員都市への情報提供	活動指標	単位	R3	R4	R5
		研修会等出席回数	回	0	0	2
		事業費計	千円	17	17	0
		一般財源	千円	17	17	0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	書面やWEB講演会による定期総会、研修会の開催ではあったが、参加することにより、監査執行に関する情報収集を行うことができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		研修会等出席率	%	0	0	100	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用は下がった	費用の増減無し	○	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				費用が増加した		
	効果が下がった指標数	0指標						
指標全体	効果が上がった							

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	
------	--

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年8月9日

事業名	会議録作成事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局		予算中事業名	会計	一般会計	事業計画	単年度繰返し	
	課	議事課				予算	1	新規or継続	継続事業
	係	議事調査係				科目	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	811	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	義務的的事业	
	基本目標	8	全庁共通	地方自治法、佐野市議会委員会条例、佐野市議会会議規則	事業	開始年度	成17年度	実施方法	一部委託
	政策	1	全庁共通		期間	終了年度	事業分類	その他内部事務事業	
	施策	1	政策体系外						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>本会議、常任委員会及び予算・決算審査特別委員会、議会運営委員会並びに議員全員協議会の会議録を作成する。</li> <li>会議録（議会運営委員会及び議員全員協議会を除く）を議会ホームページに掲載し、市民、議員、職員等が閲覧、及び検索することができるようにする。</li> </ul>
------	--

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	正確な会議録調製をする。また、市民、議員及び職員等が会議録を容易に閲覧し、及び検索することができるようにし、会議内容を共有する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		本会議会議録ページ数	ページ	1,175	1,392	1,469	1,500	1,550
		会議録検閲システムアクセス数	件	12,687	18,988	17,769	18,000	18,500

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本会議等、各会議の終了後、委託業者からの会議録の原稿データの校正を2回行った。</li> <li>本会議、常任委員会及び予算・決算審査特別委員会、議会運営委員会並びに議員全員協議会の会議録を作成した。</li> <li>指定管理者制度の在り方調査特別委員会の会議録を作成した。</li> <li>会議録（議会運営委員会及び議員全員協議会を除く）を議会ホームページに掲載し、市民、議員、職員等が閲覧、検索できるようにした。</li> </ul>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		本会議データ編集ページ数	ページ	1,159	1,376	1,458
		委員会データ編集ページ数	ページ	804	955	1,124
		事業費計	千円	4,295	4,784	5,239
		一般財源	千円	4,295	4,784	5,239
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	会議録（議会運営委員会及び議員全員協議会を除く）を議会ホームページに掲載し、閲覧及び検索することができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		本会議会議録ページ数	ページ	1,175	1,392	1,469	値が大きほど良い	効果が上がった
		会議録検閲システムアクセス数	件	12,687	18,988	17,769	値が大きほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した		※10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
	指標全体	効果は変わらない	費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。</li> </ul>
------	---

事業名	関東市議会議長会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	議事課				関東市議会議長会参画事業	款	1 新規or継続	継続事業
政策体系	係	庶務係		根拠法令、条例等	予算科目	項	1 市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	811	名称			目	1 義務or任意	任意的事業	
	基本目標	8 全庁共通	関東市議会議長会会則			事業期間	開始年度 H17	実施方法	直営
	政策	1 全庁共通				終了年度	-	事業分類	参画事業
施策	1 政策体系外								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	<p>関東市議会議長会に会員として負担金を支出している。また、総会及び研修会に出席し、意見交換及び情報収集を行っている。</p> <p>※関東市議会議長会とは、関東各市議会が協同して地方自治の確立及び都市の興隆発展を図ることを目的とし、東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、茨城、栃木及び山梨の各都県の市議会（特別区議会を含む。）の議長を会員として組織している団体である。</p>
------	---

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議長が各市・区議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上を図り、もって市政振興に役立ててもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野市対象の会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行なった主な活動内容)	<p>(市の活動)</p> <p>関東市議会議長会に負担金を支出し、並びに総会（1回）及び事務局職員研修会（1回）に出席した。</p> <p>(関東市議会議長会の活動)</p> <p>総会（1回）、正副議長会議（4回）、支部長会議（4回）、理事会（2回）、監事会（1回）、事務局職員研修会（1回）等を開催した。</p>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		佐野市対象の会議・研修会出席回数	回	0	3	2
		事業費計	千円	30	75	56
		一般財源	千円	30	75	56
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	各市・区議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野市対象の会議・研修会出席した割合	%	0.0	100.0	100.0	面が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数 1指標		○		
	効果が下がった指標数 0指標				
	指標全体 効果は変わらない				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。
------	--------------------------



事業名	議会だより発行事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	会計	一般会計	事業計画	単年度繰返し		
	課	議事課			議会だより発行事業	款	1 新規or継続	継続事業	
政策体系	係	議事調査係	根拠法令、条例等	科目	項	1 市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	811			目	1 義務or任意	任意的事業		
	基本目標	8 全庁共通			事業期間	開始年度	成17年度	実施方法	一部委託
	政策	1 全庁共通				終了年度		事業分類	啓発事業
施策	1 政策体系外	佐野市議会広報誌発行規程							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会だより（改選による臨時号・定例会ごとの定例会号・新春号）を発行する。</li> <li>臨時号及び定例会号は市内全戸配布し、市役所総合案内、行政センター、支所、地区公民館、図書館等に配布するとともに、議会ホームページに掲載する。</li> <li>新春号は議員の新年の抱負であるため、配布せず議会ホームページのみに掲載する。</li> </ul>
------	---

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	開かれた議会を目指して、市民の方に議会活動を知っていただき、関心を持ってもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		議会ホームページアクセス数	件	12,388	11,855	12,017	12,500	13,000
		1号当たりの発行部数	部	45,700	45,700	45,700	45,700	45,700

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>市議会だより発行前に市議会だより編集委員会を開催し、掲載内容等について協議した。</li> <li>定例会号はそれぞれ時節に合わせた記事を掲載した。</li> <li>市議会だより（定例会号・新春号）を発行し、市内全戸配布及び市役所総合案内等各施設に配布した。また、議会ホームページに掲載した。</li> <li>新春号（1月1日号）は議員の挨拶等のため、議会ホームページのみに掲載した。</li> </ul>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		編集委員会開催回数	回	8	8	8
		議会だよりページ数	ページ	73	74	75
		事業費計	千円	3,394	2,972	3,580
		一般財源	千円	3,394	2,972	3,580
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	編集委員会を開催し、イラストや写真等を多く配置するなど、見やすく、検索しやすいように記事を掲載した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		議会ホームページアクセス数	件	12,388	11,855	12,017	値が大きいほど良い	効果が上がった
		1号当たりの発行部数	部	45,700	45,700	45,700	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		1指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった				
費用	費用は下がった					
	費用の増減無し					
	費用が増加した	○				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>物価高騰による印刷単価の上昇を見込み、限られたページ数の中で見やすさや目を引く構成など、幅広い世代に関心を持ってもらう紙面づくりの必要がある。</li> </ul>
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会活動に興味・関心をもってもらえるように、引き続き、紙面構成や掲載内容等を見やすく分かりやすくする検討を随時行う。</li> </ul>



事業名	議会映像配信事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	議会映像配信事業	会計	一般会計	事業計画	単年度繰返し
	課	議事課				予算	1 新規or継続	継続事業
	係	議事調査係				科目	1 市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	811	名称	根拠法令、条例等	目	1 義務or任意	任意的事業	
	基本目標	8 全庁共通	佐野市議会議会中継運営要綱	事業期間	開始年度	成17年度	実施方法	一部委託
	政策	1 全庁共通			終了年度		事業分類	啓発事業
	施策	1 政策体系外						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会及び臨時会の本会議、常任委員会及び予算・決算審査特別委員会について、インターネットを活用して生中継及び録画により映像配信を行い、並びに市役所庁舎の館内テレビを活用して生中継により配信を行う。</li> <li>一般質問、施政方針及び予算大綱については、上記以外に佐野ケーブルテレビを活用して生中継により映像配信を行う。</li> </ul>
------	--

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	傍聴に来られない方にも定例会等の映像を直接ご覧いただき、会議内容を知っていただくことで、議会に関心を持ってもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		インターネット配信サイトアクセス数	件	7,528	8,171	9,473	9,500	9,600
		傍聴人数（定例会、臨時会）	人	61	60	162	170	180

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月定例会、9月定例会、12月定例会、2月定例会及び臨時会1回の全日程をインターネットを活用して生中継及び録画により配信を行った。</li> <li>定例会及び臨時会の全日程を市役所庁舎の館内テレビを活用して生中継により配信を行った。</li> <li>定例会の一般質問及び2月定例会の予算大綱について、佐野ケーブルテレビを活用して生中継で放送した。</li> <li>指定管理者制度の在り方調査特別委員会を生中継及び録画により配信を行った。</li> <li>映像配信用のパソコンの更新をした。</li> </ul>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		配信した本会議	日	27	29	28
		配信した委員会	日	23	25	27
		事業費計	千円	1,630	1,615	2,285
		一般財源	千円	1,630	1,615	2,285
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	近年、多くの市議会がインターネットによる生中継及び録画配信を行っている。また、新型コロナウイルス感染症防止のためテレワークの活用も増え、映像配信の必要性が高まっていることからアクセス数が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		インターネット配信サイトアクセス数	件	7,528	8,171	9,473	面が大きいほど良い	効果が上がった
		傍聴人数（定例会、臨時会）	人	61	60	162	面が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった	費用は下がった	費用が増加した	費用が増加した	費用が増加した

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。</li> </ul>
------	---

事業名	議会及び議長交際活動事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	議事課			予算科目	款	1	新規or継続	継続事業
政策体系	係	庶務係		根拠法令、条例等	項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	811	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	8	全庁共通		事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	1	全庁共通		終了年度	-	事業分類	その他内部事務事業	
施策	1	政策体系外							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

## (1) 事業概要

事業概要	議長等が会議、式典、大会、慶弔等に出席する際の日程調整を行い、挨拶文及び寄稿文を作成するとともに、必要に応じて交際費を支出する。
------	--

## (2) 目的

## (3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市政に関係する市民、団体及び企業と円滑な関係を維持し、市政の進展を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		議長等が式典等に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

## (1) 活動実績

## (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 会議、式典、大会、慶弔等に出席する際の日程調整を行い、あいさつ文及び寄稿文を作成する。また、市議会ホームページに交際費の詳細を掲載した。 ・議長等の式典等出席件数 155件 ・挨拶文等作成件数 109件 ・交際費支出件数及び金額 56件 425,135円	活動指標	単位	R3	R4	R5
		議長等の式典等出席件数	件	27	124	300
		事業費計	千円	40	158	425
		一般財源	千円	40	158	425
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

## (3) 活動による効果

## (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	市政に関し、市民・団体及び企業と良好な関係を維持することにより、議会活動への理解及び協力が得られ、市の事業の円滑な執行を図ることができた。 日程の重複などから、やむを得ず出席できない場合は、副議長等が代理出席にて対応したが、議会中の公務は欠席となった。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		議長等が式典等に出席した割合	%	100.0	97.6	99.4	面が大きいほど良い	効果が上がった

## (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果			
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数		1指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数		0指標			
	効果が下がった指標数		0指標			
	指標全体	効果が上がった				

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）  
 事業効果を上げるための事務改善の検討  
 事業費の見直し検討  
 業務時間効率化のための事務改善の検討  
 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

## 取組説明

・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年8月9日

事業名	佐野市議会活性化検討委員会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	市議会活性化検討委員会支援	科目	会計	一般会計	事業計画	期間限定複数年度
	課	議事課				款	1	新規or継続	継続事業
	係	議事調査係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	811	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	8	全庁共通	佐野市議会活性化検討委員会設置要綱	事業期間	開始年度	成25年度	実施方法	直営
	政策	1	全庁共通		終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	1	政策体系外						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐野市議会活性化検討委員会は、議長からの諮問を受け、議会運営の活性化に関する調査研究を行い、その結果を議長に答申する。</li> <li>設置された佐野市議会活性化検討委員会の運営を支援する。</li> </ul>
------	--

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市民に信頼され、開かれた議会を目指し、議長から諮問された課題について協議し、議会運営の活性化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		議長に答申をした回数	回	2	0	1	1	1
		視察した先進地	市町村	0	0	0	1	1

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4、5月 議長より諮問を受け、委員会を開催し、諮問された内容について協議した。</li> <li>5月12日 協議内容を議長へ答申した。</li> <li>6月、9月、12月 政策提言のスケジュールや進捗状況の確認、また、次回の政策提言の進め方、佐野市議会BCPの見直し等について協議した。</li> <li>協議を進めることを優先し、先進地視察は行わなかった。</li> </ul>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		議長より諮問を受けた回数	回	1	0	1
		活性化検討委員会開催回数	回	5	0	6
		事業費計	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	議長からの諮問を受け、その内容を協議し、答申を行った。政策提言の進捗状況等を各委員会から報告を受け、議会全体で共有することができた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		議長に答申をした回数	回	2	0	1	値が大きいほど良い	効果が上がった
		視察した先進地	市町村	0	0	0	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標		費用	○		
	効果が下がった指標数	0指標					
	指標全体	効果が上がった					
			費用は下がった				
			費用の増減無し				
			費用が増加した				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。</li> </ul>
------	---

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 2024年8月9日

事業名	佐野市暴力追放連合会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し											
	課	議事課							佐野市暴力追放連合会参画事業	予算	1	新規or継続	継続事業						
政策体系	係	庶務係		根拠法令、条例等	科目	目	1	市単独or国県補助	市単独事業										
	体系コード	811	名称							根拠法令、条例等	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営				
	基本目標	8	全庁共通							佐野市暴力追放連合会会則						終了年度	-	事業分類	参画事業
	政策	1	全庁共通																
施策	1	政策体系外																	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	佐野市暴力追放連合会の会員として負担金を支出している。また、総会に出席し、暴力排除に関する意見交換及び情報収集を行っている。 ※佐野市暴力追放連合会とは、佐野市の関係機関、各種団体及び住民が総力を結集して徹底した暴力追放活動を展開し、暴力の存在しない明るく住みよい街づくりの推進を目的とし、佐野市その他の関係機関団体を会員として構成している団体である。
------	---

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議長が関係機関と意見交換及び情報収集を行うことにより、情報の共有及び資質の向上を図り、もって市政振興に役立ててもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 佐野市暴力追放連合会に負担金を支出し、並びに総会（1回）に出席した。 (佐野市暴力追放連合会の活動) 総会（1回）を開催し、及び暴力団追放啓発品（佐野市暴力団排除条例啓発用うちわ）を配布した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議出席回数	回	0	1	1
		事業費計	千円	10	10	10
		一般財源	千円	10	10	10
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	関係機関と意見交換及び情報収集を行うことにより、情報の共有及び資質の向上を図った。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		会議に出席した割合	%	0.0	100.0	100.0	面が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し		※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標		○		
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。
------	--------------------------



事業名	常任委員会活動支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	会計	一般会計	事業計画	単年度繰返し		
	課	議事課			課	1 新規or継続	継続事業		
政策体系	係	議事調査係	根拠法令、条例等	事業期間	項目	1 市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	811			名称	目	1 義務or任意	義務的の事業	
	基本目標	8 全庁共通			佐野市議会委員会条例、 佐野市議会基本条例	開始年度	成17年度	実施方法	直営
	政策	1 全庁共通				終了年度		事業分類	支援事業
施策	1 政策体系外								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

## (1) 事業概要

事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>4 常任委員会（総務、厚生、経済文教、建設）の所管に属する先進地の視察の手配、随行等を行う。</li><li>閉会中に各常任委員会で行う所管事務調査の支援を行う。</li></ul>
------	---

## (2) 目的

## (3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	各常任委員会が所管する事務について、先進地の有効な事務事業及び市内の現況等を視察し、及び閉会中に所管事務調査を行うことにより、市にとって有効と考えられる施策等を一般質問などで執行部に提言できるように支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		提出した政策提言の数	回	0	0	2	2	2
		一般質問を行った議員の人数（延べ）	人	82	81	68	80	80

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

## (1) 活動実績

## (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<ul style="list-style-type: none"><li>9月中旬 各常任委員長と打合せをし、視察事業、視察地等を選定、協議した</li><li>9月下旬 選定先と日程調製等を行った</li><li>10月中旬～下旬 各常任委員会において視察実施</li><li>8月～12月 経済文教常任委員会（総務常任委員会同席）において所管事務調査を実施</li><li>10月 厚生常任委員会（建設常任委員会同席）において所管事務調査を実施</li></ul>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		常任委員会で視察した先進地の数	箇所	0	8	8
		所管事務調査実施回数	回	0	2	5
		事業費計	千円	0	2,059	1,875
		一般財源	千円	0	2,059	1,875
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

## (3) 活動による効果

## (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	2つの常任委員会が合同で「ゼロカーボンシティ実現と地域課題解消を考えた取組に関する政策提言」及び「佐野駅南地域の再整備に関する政策提言」を市長に提出した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		提出した政策提言の数	回	0	0	2	値が大きいほど良い	効果が上がった
		一般質問を行った議員の人数（延べ）	人	82	81	68	値が大きいほど良い	効果が下がった

## (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用は下がった	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 1指標 指標全体 効果は変わらない		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
		費用は下がった	費用が増減無し	費用が増加した	

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

<ul style="list-style-type: none"><li>政策提言の実施について、全議員の理解が必要である。</li><li>当初のスケジュールより遅れての政策提言提出となってしまったので、具体的な実施方法等を検討しながら改善していく。</li></ul>
---

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

## 取組説明

・先進地視察や所管事務調査に加え、市民や企業等との意見交換などを行い、政策提言に反映させる。



事業名	政務活動支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し	
	課	議事課				政務活動支援事業	款	1 新規or継続	継続事業
政策体系	係	庶務係		根拠法令、条例等	予算科目	項	1 市単独or国県補助	市単独事業	
	体系コード	811	名称			目	1 義務or任意	任意的事業	
	基本目標	8 全庁共通	地方自治法100条13項14			事業期間	開始年度 H17	実施方法	直営
	政策	1 全庁共通	項、佐野市議会政務活動費			終了年度	-	事業分類	支援事業
施策	1 政策体系外	の交付に関する条例							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	市議会議員の調査研究に資するため、必要な経費の一部として、議員1人当たり年間30万円の政務活動費を交付し、当該年度の政務活動費に残余があるときは、返還している。 平成25年度分から、収支状況一覧を市議会ホームページに掲載し、並びに収支報告書及びその添付書類の写しの閲覧ができるようにしている。 平成28年度分から、収支報告書及びその添付書類の写しを市議会ホームページに掲載している。
------	---

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議員の政務活動の活発化により、調査研究された事項が提案又は要望として市政に反映される。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		政務活動費支出総額/交付総額	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行なった主な活動内容)	(市の活動) 年度当初に全議員に一括交付し、年度終了後に清算、市議会ホームページに収支報告書及びその添付書類の写しを掲載した。 (議員の活動) 議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、政務活動費（研究研修費、調査旅費、資料作成費、資料購入費、広報費）を充てる。 ・交付議員数 23人 ・支出総額 6,141,139円	活動指標	単位	R3	R4	R5
		議員1人当たりの政務活動費交付金額	千円	170	223	267
		政務活動費交付総額	千円	4,092	5,363	6,141
		事業費計	千円	4,092	5,363	6,141
		一般財源	千円	4,092	5,363	6,141
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、研究会、研修会への参加や調査研究のための先進地調査等の議員活動が再開され、政務活動費が有効に活用された。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		政務活動費支出総額/交付総額	%	56.8	74.5	89.0	面が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数 0指標				
	効果が下がった指標数 0指標				
	指標全体 効果が上がった				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。
------	--------------------------

事業名	全国市議会議長会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し			
	課	議事課			課	1	新規or継続	継続事業		
政策体系	係	庶務係	全国市議会議長会参画事業	予算科目	項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
	体系コード	811			名称	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	8			全庁共通	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	1			全庁共通	終了年度	-	事業分類	参画事業	
施策	1	政策体系外	全国市議会議長会会則							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

## (1) 事業概要

事業概要	全国市議会議長会に会員として負担金を支出している。また、総会及び研修会に出席し、意見交換及び情報収集を行っている。 ※全国市議会議長会とは、地方自治の本旨に沿い、都市の興隆発展を図ることを目的とし、全国の各市議会（特別区議会を含む。）の議長を会員として組織している団体である。
------	---

## (2) 目的

## (3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議長が各市・区議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上を図り、もって市政振興に役立ててもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野市対象の会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

## (1) 活動実績

## (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 全国市議会議長会に負担金を支出し、並びに総会（1回）、同会建設運輸委員会委員として建設運輸委員会（3回）に出席した。地元国会議員へ要望書の提出（2回）を行った。全国議事記録議事運営事務研修会に出席した。 (全国市議会議長会の活動) 定期総会(1回)、評議員会（3回）、理事会（5回）、部会長会（4回）、各種特別委員会等を開催し、及び国への要望活動（3回）等を行った。事務局職員研修会、全国市議会議長会研究フォーラムin北九州を開催した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		佐野市対象の会議・研修会出席回数	回	0	5	5
		事業費計	千円	598	601	609
		一般財源	千円	598	601	609
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

## (3) 活動による効果

## (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	各市・区議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野市対象の会議・研修会出席した割合	%	0.0	100.0	100.0	面が大きいほど良い	効果は変わらない

## (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 効果が変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体		0指標 1指標 0指標 効果は変わらない	効果が上がった	効果は変わらない
			費用は下がった	費用が増減無し	費用が増加した

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

## 取組説明

・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。

事業名	栃木県市議会議長会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し			
	課	議事課				栃木県市議会議長会参画事業	款	1 新規or継続	継続事業		
政策体系	係	庶務係		根拠法令、条例等	予算科目	1	市単独or国県補助	市単独事業			
	体系コード	811	名称			根拠法令、条例等	目	1 義務or任意	任意的事業		
	基本目標	8	全庁共通			栃木県市議会議長会則	事業期間	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	1	全庁共通				終了年度	-	事業分類	参画事業	
施策	1	政策体系外									

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	<p>栃木県市議会議長会に会員として負担金を支出している。また、会議及び研修会に出席し、意見交換及び情報収集を行っている。</p> <p>※栃木県市議会議長会とは、栃木県内の各都市の自治発展に資することを目的に、県内各市議会の議長及び副議長を会員として組織している団体である。</p>
------	--

### （2）目的

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議長及び市議会副議長が各市議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上を図り、もって市政振興に役立ててもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野市対象の会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	<p>(市の活動)</p> <p>栃木県市議会議長会に負担金を支出し、並びに議長会議（3回）、事務局長会議（3回）、天機奉何(2回)、議員及び事務局職員研修会（1回）及び職員研修会（2回）に出席した。</p> <p>(栃木県市議会議長会の活動)</p> <p>議長会議（3回）、監事会（1回）、事務局長会議（3回）、天機奉何(2回)、議員及び事務局職員研修会（1回）、事務局長研修会（1回）及び職員研修会（3回）を開催した。</p>	活動指標	単位	R3	R4	R5
		佐野市対象の会議・研修会出席回数	回	6	11	13
		事業費計	千円	62	137	124
		一般財源	千円	62	137	124
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	各市議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		佐野市対象の会議・研修会に出席した割合	%	85.7	91.7	92.9	面が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果が変わらない指標数	0指標		費用の増減無し	○	
	効果が下がった指標数	0指標				
指標全体	効果が上がった					

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	<p>・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。</p>
------	---------------------------------

事業名	栃木県南6市議会議長会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し					
	課	議事課						栃木県南6市議会議長会参画事業	予算科目	1	新規or継続	継続事業
政策体系	係	庶務係	根拠法令、条例等	事業期間	1	市単独or国県補助	市単独事業					
	体系コード	811						名称	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	8						全庁共通	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	1						全庁共通	終了年度	-	事業分類	参画事業
施策	1	政策体系外	栃木県南6市議会議長会会則									

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

## (1) 事業概要

事業概要	栃木県南6市議会議長会の会員として負担金を支出している。また、定例会、事務局長会議及び研修会に出席し、意見交換及び情報収集を行っている。 ※栃木県南6市議会議長会とは、市政諸般の事項に関する研究及び情報の交換を行い、栃木県南6市の各都市の市政発展に資することを目的とし、栃木市、足利市、佐野市、小山市、真岡市及び下野市の市議会議長及び副議長を会員として組織している団体である。
------	---

## (2) 目的

## (3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議長及び市議会副議長が各市議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上を図り、もって市政振興に役立ててもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

## (1) 活動実績

## (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 県南6市議会議長会に負担金を支出し、並びに定例会（1回）、研修会（1回）、事務局長会議（2回）に出席した。また、臨時会（1回）は、書面会議による開催となり書面で賛否を表明した。 (栃木県南6市議会議長会の活動) 定例会（1回）、研修会（1回）、事務局長会議（2回）及び書面会議による臨時会（1回）を開催した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議・研修会出席回数	回	2	3	4
		事業費計	千円	0	85	100
		一般財源	千円	0	85	100
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

## (3) 活動による効果

## (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	各市議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	面が大きいほど良い	効果は変わらない

## (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 効果が変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体		0指標 1指標 0指標 効果は変わらない	効果が上がった	効果は変わらない
費用	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した			○	

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）  
 事業効果を上げるための事務改善の検討  
 事業費の見直し検討  
 業務時間効率化のための事務改善の検討  
 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

## 取組説明

・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。



事業名	両毛六市議会議長会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	議会事務局	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰返し					
	課	議事課						両毛六市議会議長会参画事業	予算科目	1	新規or継続	継続事業
政策体系	係	庶務係	根拠法令、条例等	事業期間	1	市単独or国県補助	市単独事業					
	体系コード	811						名称	1	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	8						全庁共通	開始年度	H17	実施方法	直営
	政策	1						全庁共通	終了年度	-	事業分類	参画事業
施策	1	政策体系外	両毛六市議会議長会会則									

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

## (1) 事業概要

事業概要	両毛六市議会議長会に会員として負担金を支出している。また、定例会、事務局長会議及び議員研修会に出席し、意見交換及び情報収集を行っている。 ※両毛六市議会議長会とは、市政諸般の事項に関する研究及び情報の交換を行い、両毛六市の各都市の協調及び市政発展に資することを目的とし、足利市、佐野市、桐生市、太田市、館林市及びみどり市の市議会議長及び副議長を会員として組織している団体である。
------	--

## (2) 目的

## (3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	市議会議長及び市議会副議長が各市議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上を図り、もって市政振興に役立ててもらう。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

## (1) 活動実績

## (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	(市の活動) 両毛六市議会議長会に負担金を支出し、並びに定例会（1回）、議員研修会（1回）、事務局長会議（2回）のうち2回出席し、1回は書面会議による開催となり、書面で賛否を表明した。 (両毛六市議会議長会の活動) 定例会（1回）、議員研修会（1回）、事務局長会議（2回）のうち1回は書面会議を開催した。	活動指標	単位	R3	R4	R5
		会議・研修会出席回数	回	2	3	3
		事業費計	千円	0	100	100
		一般財源	千円	0	100	100
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

## (3) 活動による効果

## (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	各市議会と意見交換及び情報収集を行い、並びに研修会に出席することにより、情報の共有及び資質の向上が図れた。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		会議・研修会に出席した割合	%	100.0	100.0	100.0	面が大きいほど良い	効果は変わらない

## (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 効果が変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体		0指標 1指標 0指標 効果は変わらない	効果が上がった	効果は変わらない
			費用は下がった	費用が増減無し	費用が増加した

## 4. 次年度に向けた検討

## (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

反省点及び課題なし
-----------

## (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

## 取組説明

・反省点及び課題はないため、現状の通り実施する。



# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年7月29日

事業名	在外選挙人名簿登録事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	選挙管理委員会	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	選挙管理委員会			款	2	新規or継続	継続事業
	係	選挙管理委員会			項	4	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	811	名称	目	1	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	8	全庁共通	事業	開始年度	実施方法	直営	
	政策	1	全庁共通	期間	終了年度	事業分類	その他内部事務事業	
	施策	1	政策体系外					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	公職選挙法等関係法令に基づき、在外選挙人名簿への登録を行う。
------	--------------------------------

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	在外選挙人名簿への登録を行うことにより、国外に居住する有権者を的確に把握する。
-------------------------	---

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
有権者を的確に把握できた割合	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・本人からの登録申請に基づき、在外選挙人名簿への登録事務を行った。 ・選挙管理委員会を開催し、在外選挙人名簿への登録及び抹消を行った。
--------------------------	--

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
在外選挙人名簿調製回数	回	5	5	2
事業費計	千円	8	10	5
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	8	10	5
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	在外選挙人名簿への登録を行い、国外に居住する有権者を的確に把握できた。
------------------	-------------------------------------

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
有権者を的確に把握できた割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標
	効果は変わらない指標数 1指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

		効果		
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった			
	費用の増減無し		○	
	費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明